

【ブルームバーグ・インテリジェンス】「2016 年下半期 経済・産業展望セミナー」

2016 年 7 月 22 日(金) | 12:15 - 16:30 (昼食付)

プログラム(日英同時通訳付き)

11:45 - 12:15 // 受付開始・昼食(お弁当をご用意いたします)

12:15 - 12:20 // 開会のご挨拶
ブルームバーグ L.P. 在日代表 石橋 邦裕

12:20 - 13:05 // 基調講演「最近の企業の価格設定行動と金融政策運営」
東京大学大学院経済学研究科 教授 渡辺 努 氏

13:05 - 13:25 // 「内憂外患の日本経済と金融政策のオプション」
ブルームバーグ・インテリジェンス エコノミスト 増島 雄樹

13:25 - 13:35 // コーヒーブレイク

13:35 - 15:05 // パネルディスカッション:
「日本銀行の金融政策に限界と出口はあるのか? - これまでの評価と今後の政策運営を問う」
パネリスト:

- 「政策反応関数の喪失と萎縮する市場」
岡三証券株式会社 チーフエコノミスト 愛宕 伸康 氏
- 「日本銀行の金融政策の評価と展望」
三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 経済政策部上席主任研究員 片岡 剛士 氏
- 東京大学大学院経済学研究科 教授 渡辺 努 氏

モデレーター: ブルームバーグ・インテリジェンス エコノミスト 増島 雄樹

15:05 - 15:10 // 休憩

15:10 - 15:30 // 自動車:「日本の自動車メーカー: 海外市場での評判とその影響」
ブルームバーグ・インテリジェンス アジアリサーチ ディレクター スティーブ・マン

15:30 - 15:50 // 消費財:「日本の消費財メーカー: M&A が海外戦略の促進材となるか」
ブルームバーグ・インテリジェンス アナリスト
消費財担当/ トーマス・ジャストラブ

15:50 - 16:10 // テクノロジー:「今後の成長の鍵: 4G データ通信、マルチデバイス、E コマース」
ブルームバーグ・インテリジェンス アナリスト
テクノロジー、メディア、テレコム (TMT) 担当/ ミッシェル・マ

16:10 - 16:30 // エネルギー:「エネルギー改革によって石炭市場の活性化は果たされるか?」
ブルームバーグ・インテリジェンス アナリスト
マテリアル&エネルギー担当/ ミランダ・ワン

>> 登壇者略歴



渡辺 努 氏
東京大学大学院経済学研究科教授

東京大学大学院経済学研究科教授。専門はマクロ経済学。主な研究分野は金融政策と物価。ハーバード大学 Ph.D.(経済学専攻)。論文・著書多数。内閣府経済財政諮問会議政策コメンテータ、国土交通省不動産価格指数の整備に関する研究会委員、キャノングローバル戦略研究所研究主幹を兼務。『東大日次物価指数プロジェクト』研究代表者。株式会社ナウキャスト創業者・技術顧問。



愛宕 伸康 氏
岡三証券株式会社 チーフエコノミスト

1991年03月 神戸大学大学院経済学研究科修了

1991年04月 日本銀行入行

2010年09月 調査統計局・物価統計課長

2011年07月 日本経済研究センター主任研究員(短期予測主査)

2015年07月 日本銀行総務人事局・人材開発課長、横浜国立大学講師

2015年11月 日本銀行退職

2015年12月 岡三証券(株)チーフエコノミスト

>> 登壇者略歴



片岡 剛士 氏

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 経済政策部 上席主任研究員
早稲田大学経済学研究科非常勤講師、参議院第二特別調査室 客員調査員
会計検査院 特別研究職

1972 年 愛知県生まれ

2001 年 慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程(計量経済学専攻)修了

1996 年 三和総合研究所

(現三菱 UFJ リサーチ& コンサルティング株式会社)に入社

現在に至る

主要著作

『日本経済はなぜ浮上しないのか—アベノミクス第2ステージへの論点』(幻冬舎、2014年)

『アベノミクスのゆくえ—現在、過去、未来の視点から考える』(光文社新書、2013年)

『円のゆくえを問いなおす—実証的・歴史的にみた日本経済』(ちくま新書、2012年)

『日本の「失われた20年」—デフレを超える経済政策に向けて』(藤原書店、2010年、
第4回河上肇賞本賞受賞、第2回政策分析ネットワークシンクタンク賞受賞)等多数。



増島 雄樹

ブルームバーグ・インテリジェンス
エコノミスト

東京を拠点とし、ブルームバーグの日本経済分析を統括する。ブルームバーグ入社以前は、日本有数の経済シンクタンクである日本経済研究センターで主任研究員を努めた。このほか、日本銀行、世界銀行、野村信託銀行でも職務を歴任。金融庁と経済産業省傘下の研究機関でも研究員を努めており、システミックリスクと為替レートの評価などに関する数々の研究論文を執筆した。慶應義塾大学経済学部卒、国際大学にて国際

開発学修士、米国のブランダイス大学国際経営大学院にて博士号を取得。

>> 登壇者略歴



スティーブ・マン
ブルームバーグ インテリジェンス アジアリサーチ ディレクター
» BI AUTMA <GO>

香港およびニューヨークの野村ホールディングス、サムスン証券、HSBC、およびジェフリーズで、セルサイドのリサーチ・アナリストとして自動車・工業セクターを12年以上にわたり担当。それ以前は、ゼネラルモーターズのパワートレイン部門でエンジニアおよび管理職を務めた。インディアナ大学MBA、ミシガン大学生産工学修士号、ゼネラルモーターズ・インスティテュート生産工学学士号を取得。香港において、機関投資家が選ぶ上位自動車アナリストでもある。



トーマス・ジャストラブ
ブルームバーグ インテリジェンス 消費財担当アナリスト
» BI FOODG <GO>
» BI APPRA <GO>
» BI RETFA <GO>

香港を拠点に、アジアの食品、飲料、タバコ、家庭用品産業などを含む小売業界を4年以上担当。現職以前はブルームバーグにおいてオペレーションおよびデータグループに所属。ミシガン大学学士号取得。オルタナティブ投資アナリスト(CAIA)。日本語に堪能。



ミシェル・マ
ブルームバーグ・インテリジェンス テクノロジー、メディア、テレコム (TMT)担当アナリスト
» BI TELCA <GO>
» BI INETG <GO>

ブルームバーグ入社前は、香港サムスン証券にてTMT株式アナリスト、NQモバイル(NYSE 上場)では投資家情報ディレクターを務める。7年間の金融経験を持つ。トロント大学にて金融・会計学士号を取得。英語、北京語、広東語に堪能。